

中原通信



文責 増永 善久



○第2・第3ステージを振り返って。

冬休み前、県内ではインフルエンザの流行が見られていますが、本校では、12月に入り、大きな流行もなく、無事に持久走大会などを実施できました。後期の始業式で、児童の皆さんに『まだ知らない自分』をめざしてほしいと話をしました。皆さんには、いろんなことができる可能性があります。それが『まだ知らない自分』です。『まだ知らない自分』を見つけるために、2つのことを心に留めておいてほしいと伝えました。1つ目が、「失敗をこわがらず、いろんなことに挑戦してほしい」、もう一つが「自分で考え行動してほしい」の2つです。自分で、新しいことに挑戦し、自分で考えて、行動すれば、何か新しい発見があったはずです。この新しい発見を大事にしてほしいと思います。新しい発見は、児童の皆さんのが持っている、まだ自分で知らなかった力が表に出たものになります。中原ではいろんな体験ができます。これからも『まだ知らない自分』を見つけ出すために、「挑戦」と「考えて行動すること」をしっかり意識して生活して欲しいと思っています。

○12月12日は盛りだくさんの1日でした。

12月12日に持久走大会・親子クッキング・親子レクリエーション・SNS講座(ゲーム依存について)を開催しました。持久走大会は参加した児童一人一人がしっかりと走っている姿に感心しました。また、保護者の皆さんには、あたたかい応援等たいへんお世話になりました。ありがとうございました。親子クッキングでは、食生活改善推進員(食改)さんのご協力、ご指導のもと、手を汚さずに作り、食べることができる衛生的なメニューで、災害時の食事としても知られている「おにぎらず」を親子で作りました。また、米は、後援会長さんのご協力で、子どもたちが作った米を使用しました。親子レクリエーションでは、子どもたちがやりたいと希望した、学校かくれんぼとドッヂビー(フリスビーを使うドッヂボール)をしました。学校かくれんぼでは、制限時間内に、保護者から見つからなかった児童が数名いました。SNS講座では、「ゲーム依存について知っておくべきこと」と題して、希望ヶ丘病院の岡崎作業療法士の講演を行いました。ネット依存の多くがゲーム依存であることやネット(ゲーム)依存と脳の活動(ネット依存になれば、思考力の低下や感情コントロールの困難さが表れるなど)についての話がありました。また、ネット(ゲーム)依存を予防するためには、「家庭でのルールを作り、家族でルールを守る」など親子で取り組むことの大切さも話されました。実際に病院で、ゲーム依存症支援にあたっている方の話を聞く貴重な機会となりました。



□1年の終わりに

年末は整理収納の時期です。整理収納は、「何が必要で、何がいらないか」など、自分で何が大切なことを決めることがあります。ひいては自分の心(気持ち)の整理にもつながることがあります。私自身、年末に我が家で整理収納を行い、落ち着いた年末年始につなげたいと思っています。児童の皆さんも、整理収納について学んでいます。

保護者の皆さんには、今年1年、学校へのご協力、本当にありがとうございました。来年もよろしくお願いします。良いお年をお迎えください。